



since 1926

自分が好き 友だちが好き このまちが好き

横浜市立下野谷小学校

学校だより

12 月号
令和2年11月30日

地域と共にある学校

校長 高橋 義成

地域と学校のかかわりについてご紹介いたします。日々、多くの皆様にお世話になり、子ども達を見守っていただいております。「したのや おひさま クラブ」とは、学校を支えていただいている活動の総称です。本校には約140人のボランティアの方に登録いただき、朝の時間に読み聞かせ（カエルのうた）や学習支援（ミシン・実習補助・引率補助ほか）、おひさま先生（地域の方が教室補助）などに参加いただいております。それらを統括するのが、職員室アシスタントとして勤務し、地域コーディネーターを兼務する関根さんです。（コーディネーターは1年間の研修を受けた方で他に2名いらっしゃいます）コーディネーターは担任からの依頼を受けて、メールでボランティアを募り、学習活動が円滑に進むように当日までサポートしています。こうした活動全体を「地域学校協働活動」と呼んでいます。コーディネーターの方は中学校ブロックの学校運営協議会にも参加して、学校づくりにもかかわっています。

また、特別支援教育支援員として登録し、学習の補助をしてくださる方も多くおります。教育学部の大学生、大学院生、他、特別支援に長けた方が学習に遅れていないか、集中できているかなど、児童の座席を回って学習支援をしてくれています。

地域では、昨年度まで「ふれあい給食」として、会長の方や、地域の敬老会の方や学援隊の方を給食に招いて交流したり、地域の伝統行事に参加したり、「したのやまつり」では、校庭一面で全自治会・町会の模擬店で買い物をしたりして、子ども達が楽しい一日を過ごすこともできました。

このようにして子ども達は多くの方の愛情に包まれながら、着実に成長しています。特に集団で活動するときに身につけた力が発揮されてきているように感じます。これからも、子ども達のために皆様の力添えをいただきながら、地域と共にある学校として成長させてまいります。

したのや おひさま クラブ

